

Japón Argentina

会報

No. 25

22 de Julio, 1999

今日の話題

- アルゼンチン経済の
実相 1
- アルゼンチン牛肉輸入
解禁間近か 3
- 速報** 政治・経済動向 .. 4
- <インタビュー>
文学巨匠の夫人
マリア・コダマ 6
- 待望の「実用スペイン語
講座」開講 7
- 長田小学校
「アルゼンチン友好の日」.. 9

アルゼンチン経済の実相

なぜ、わずか2日間で沈静化したか？



中

南米金融市場、再び混乱」「アルゼンチンの経済不安が契機」(日経、7.14)「IMF、打ち消しに躍起」(日経、7.15)と、またまた中南米の金融危機説が、わが国のマスコミを賑わしている。一方、ロンドンのフィナンシャル・タイムズは「ブエノスアイレスは嵐の後の平穏な海に」(7.15)と簡単に報じている。

先週月曜日にはじまり、わずか2日間で平常に復帰する珍奇な現象について、現地の消息筋および当地大使館筋に照会したところ、次のような実相が判明した。

いまブエノスアイレスは、来る10月24日の大統領選にむけて華々しい選挙戦が繰り広げられている。与野党の舌戦は日を追って激しくなり、わずかの発言、コメントに周囲は神経質になっている。

そのなかで与党のデュアルデ候補が、「対外債務の返済も大切だが、低所得者層への財政支出も重要である」とのコメントに市場が過剰に反応したもので、対外債務

などの支払い猶予（モラトリアム）には一切触れていないこと、従ってわずか2日間で混乱が回復する奇妙な現象が発生した。

アルゼンチンの実態経済は、IMFをはじめ各国もその成果を認めており、着実にその回復から安定成長に進んでいる。それらの詳細なデータは、経済省が隔月に発行している ARGENTINE ECONOMIC UPDATE というレポートに掲載されている。

昨秋より当協会は、当地大使館の依頼をうけ協会内に「経済諮問委員会」を設け、このレポート（英文）の要約を担当している。この一連の要約をみると、アルゼンチンの経済が如何に、確実に回復しているかが、事実問題として把握できる。

その監訳成果をご参考に供したい。なお、本文（英文）をご希望の方は、当協会へお申出下さい。

アルゼンチン経済の成長には、①兌換法②規制緩和による構造改革③徹底した民営化がその柱となっており、この路線は今後とも継承されるものとの観測が支配的である。大統領選挙が終わるまで、これからも多少の混乱は繰り返されるものと思われるが、マクロ経済政策の基調は変わらないので、片言隻句に右顧左眄（うこさん）しないことが肝要である。

（野村秀治、協会専務理事）

■ BULLETIN NO. 11 — MAY 1999

今日のアルゼンチン経済—第11号

安定成長を持続するアルゼンチン経済	1
兌換法の導入、大幅な民営化と構造改革による安定成長に。国外経済危機の影響を切り抜け、力強い将来性を示してきた。	
小売業界に参入する巨大資本	8
82年カレフォールに始まり、現在で5大チェーンで小売の5割を独占。スーパー売上がGDPの6%にも。	
アルゼンチン経済における鉱業重要性の進展	12
日本、アジアなど国際輸出市場を舞台に急成長、2002年度産出額は24億ドル。	
ゴールドラッシュは幻想ではない	18
98年度の金産出量は、2開発計画の成功で一挙22トンに激増。税引き後の投資効率19%は世界最高。金鉱開発はアンデス側で急ピッチ。	
98年来の銀行システム概要	20
上位100行の預金は771億ペソ、貸出748億ペソ、総資産1443億ペソ、自己資本比率11.4%と、国際金融危機下で順調な推移。	

■ BULLETIN NO. 10 — MARCH 1999

今日のアルゼンチン経済—第10号

90年代、海外からの投資は500万ドル超	1
前世紀末に匹敵する記録的投資は、資本の自由化、民営化により加速され、企業の合併、買収、直接投資へ。1位は米ついで西、仏、伊。	
21世紀：経済政策の成功で幕開け	8
カバロ・プランの成功でインフレと停滞から決別。なお、失業や財政赤字に懸念。アジア諸国からのダンピング輸出に法的規制が必要。	
鈍化する経済成長	8
アジア危機とロシア危機の影響による輸出価格の下落や国内金利の上昇で98年第4四半期の経済成長はマイナス転化。	
通信民営化で電話普及、新事業活発	10
10年前の民営化以来、電話が飛躍的に普及。デジタル、光ファイバー回線増加。投資増加でCATV等新事業が伸長。	
業界展望	20
今年に入り国内海外企業、投資家による熾烈な買収、投資活動進行中。石油、食品、乳業、情報技術、銀行、保険など各分野。	

■ BULLETIN NO. 9 — DECEMBER 1998 / JANUARY

1999

今日のアルゼンチン経済—第9号

ア国の対外貿易増に外国企業が健闘	5
1993—1996の輸出は全体で80%増、うち外国企業は105%、メルコスールむけは国内企業を50%上回る。輸入も全体の58%占める勢い。	
IMFと経済政策覚書を調印	6
国際金融不安が続く中で健全なマクロ経済政策の重要性を認識、財政赤字の圧縮や民営化をすすめる。99年は3%成長を見込む。	
ふえるワイン・発泡酒の度	9
生産量が年間1,600万リットルと1990年以来年間20%台の増加。価格の低下による国内需要の増大がその要因。投資も拡大傾向。	
石油化学工業ブーム	10
豊富な石油、ガス供給を背景に1997—2001年5ヵ年に総投資額30億ドル生産能力倍増計画推進中。	
口蹄疫消滅で牧畜投資の好機	15
94年度以降口蹄疫の発生はなく、本年四月から予防ワクチン廃止。米国はア国牛の輸入を認可。アジアの輸出をにらみア国で牧畜投資の動き。	

■ BULLETIN NO. 8 — NOVEMBER 1998

今日のアルゼンチン経済—第8号

対英・新協力時代の夜明け	1
関係修復のため10月末メネム大統領が訪英。鉄道、鉱山、石油、食品などへの投資を。過去2世紀にわたる紛争を取り戻そうとの動き。	
中央銀行の独立性	5
91年の兌換法と92年の中銀法の改正で、行政府の通貨政策への介入を排除し、インフレ収束と金融システム強化に成功。	
今年の農業生産は史上高	8
エル・ニーニョ現象による天候は穀類、油種の生育に幸いし、綿花を加えた予想生産高は前年比23%増の6,600万トンになる見通し。	
メルコスールにおける石油企業の大型戦略的提携	16
YPFとPETROBASは、探査、生産協力にとどまらず、製品販売も含む総合的戦略提携の合意に達した。	
都市圏消費者の新動向	20
10年前に比べ牛肉、ワインの消費減。鶏肉、ビールは増加。衣食の支出が減り、パソコン、旅行、教育などサービス部門への支出が増加。	

アルゼンチン 牛肉輸入解禁 間近か

健康志向の
グルメに朗報

長年の念願であったアルゼンチン牛肉の、わが国への輸入解禁の可能性が高まってきた。とくに問題がなければ、来年の後半には本格的なアルゼンチン牛肉が、わが国の一級レストランで賞味できるかもしれない。

「ニューヨークの5つ星レストランでは、アルゼンチンのビフテキは最高ランクに格付けされています。値段は少々高くとも、最高のビフテキを楽しむ人たちの間で、もてはやされています。」(キアラディア大使)

アルゼンチンの牛肉は今まで口蹄病のため、わが国への輸入は禁止されていた。アルゼンチンの農牧業者は過去10年間に12億ドルを投じて、ワクチンの接種により伝染病を撲滅し、1994年以来無事故を記録している。本年4月30日から大統領令によりワクチン接種をとりやめ、実質的に「リスク・ゼロ」の地域として国際的に認められた。そのため米国や台湾もアルゼンチン牛肉の輸入を開始した。

国際衛生機関（パリ）によ

れば、ワクチン接種の停止後、最低一年間問題がなければ、どの国も輸入を拒否出来ないことになっている。したがって、とくに問題が発生しなければわが国にも、アルゼンチンの牛肉が入って来ることになる。

夢が実現されることになる。理由は3つある。

(1) 健康によい牛肉

農薬やステロイドなどの薬品を与えない、純粋なパンパの草で育った牛、太陽をいっぱい浴びて、充分な運動をした牛の肉は、コレステロールが極めて低い、健康的な動物性蛋白質である。これと定評のあるアルゼンチンの赤ワインとのコンビは、健康志向の人々にとって、最高級の料理である。

(2) 本格的なビフテキ

長い伝統に培われた調理法によるアサードは、牛肉本来の味を楽しむものと、世界のグルメで定評がある。わが国に、初めて本場の牛肉による本格的料理法が導入される。

(3) 手ごろな値段

本国の牛肉の値段は、日本のほぼ4分の1。冷凍または特殊低温コンテナで、大量に輸入されれば、輸送コストも合理化され、かなり手ごろな値段で入手可能となる。



政治・経済動向速報

小林晋一郎 東銀リサーチ・インターナショナル研究理事

6月28日と29日の二日間、リオデジャネイロでラテンアメリカ・カリブと欧州連合EUの48カ国首脳会議が開催され、69章からなるリオデジャネイロ宣言が採択された。この首脳会議と同時に開催されたメルコスル加盟4カ国およびチリとEUとの会議で自由貿易交渉開始に向けての意欲的な姿勢が鮮明に示された。双方は本年11月、95年のメルコスルとEUとの枠組み協定および96年のチリとEUとの協力協定に従い協力会議を開催、自由貿易交渉に先立って交渉の方法や日程につき協議することになった。

第2回ラテンアメリカ・カリブとEUの首脳会議は2002年にマドリードで開催されることが決められた。

大の企業がスペイン資本下となつた。今回の公開買付でレプソルの支払額は131億5,800万ドルであった。これで同社の総資産の半分がラテンアメリカに所在することになった。



10月に行われる大統領選挙で与党有力候補者のデュアルデ・ブエノスアイレス州知事が大統領となった場合に経済大臣に起用されると言っているレメス下院議員は、最近のペソ不安に関連し、「ドルとの1対1のペッグ制を捨てたり、通貨切り下げ懸念を払拭する為にドル化する必要はない。現在の通貨政策であるコンバーティビリティ・プランが選択可能な唯一の制度である」とコメントしている。



スペインの石油会社レプソルは99年1月、アルゼンチンの民営化された石油会社YPFの政府保有株(YPF株全体の14.99%)を入札で1株当たり38ドル、総額20億ドルで落札した。6月、レプソルは残りの85.01%につき1株当たり44.78ドルでの公開買付を実施、YPF株の98.2%を取得し経営権を獲得、アルゼンチンで最



5月17日のフィナンシャル・タイムズにカバロ前経済大臣の「アルゼンチンは通貨をフロートすることができる」との発言が報道されるや、切り下げ容認と受け取られペソ不安が急速に高まった。カバロは5月21日に同紙に寄稿、「カレンシーボードは通貨に対する信任を再建し通貨政策がイ

ンフレを惹起することなく、また安定した通貨環境を齎した。通貨をフロートさせることは出来ない」と切り下げる可能性を否定した。

6月7日、メネム大統領とブラジルのカルドソ大統領との会談でメルコスル・サミットにおいてメルコスル強化と域内統一通貨創設に向けて財政赤字目標や公的債務の上限などで政策協調しEUのマーストリヒト条約と同様な協定作りを提案することで合意、アスンションで開催された6月14日の第16回メルコスル・サミットで提案された。

ロシア通貨危機とブラジル通貨の切り下げの影響で経済のマイナス成長と税収の落ち込みに直面、IMF拡大信用供与28億ドルの条件である99年の財政赤字目標を29.5億ドルから49.5億ドルに引き上げ、その後教育予算削減を巡る教育大臣の辞任からさらに51億ドルまで拡大することでIMFの合意を取得した。これで財政赤字の対GDP比率は0.8%から1.5%へ上昇した。また99年のGDP成長率はマイナス1.5%と

下方修正された。本年第1四半期のGDP成長率は対前年同期比でマイナス1.7%であった。

ことなどの修正がなされた。

4月12日、中銀は経営破綻した中堅銀行のメントダサ銀行(本店メントダサ市)に対し30日間の営業停止命令を出した。経営者モネタはホールディング会社CEIの大口出資者や投資組合HICKSの会員で華やかな財界人であったが現在海外逃亡中である。

通貨制度コンバーティビリティ・プランを強化するために財政均衡へ向けた努力がなされているが、これを法律化すべく「財政コンバーティビリティ法」と呼ばれる財政赤字削減法が国会で審議されている。当初の法案では2000年の対GDP財政赤字を1.5%、2001年は1%とすること、財政安定化基金の創設、3年までの多年度予算作成を認めること、公的債務の増加額は非金融部門財政赤字額を上限とすることなどが盛られていた。審議の過程で1999年の財政赤字を1.9%とすること、2000年の赤字は1.5%とすること、2003年には財政均衡を達成す

メネム大統領のリオハ州知事時代からの協力者であるエルマン・ゴンサレス労働大臣は給与以外に常に批判の対象となっている特権的年金を受給されている事が発覚、法的には問題ないが政界・世論の強い批判を受け辞任を余儀なくされた。

対外債務に関連した次期大統領の有力候補であるデュアルデ・ブエノスアイレス州知事の発言「債務支払でわれわれは血を流している」、野党連合の大統領候補者デ・ラ・ルア・ブエノスアイレス市長の発言「対外債務の政治的取扱いと国際金融機関と国際銀行の債務についてリエンジニアリング」、さらにラテンアメリカ・EU首脳会議開催地のリオでメネム大統領が次期選挙で野党連合が勝利すれば切り下げる道を選択するであろうとのペソ不安を搔き立てる不適切な発言が続いている。このような状況からフェルナンデス経済大臣はアルゼンチンの現状を説明し投資家の不安を解消すべくロードショウのために欧米を訪問する予定である。

インタビュー<この人>

アルゼンチン文学の巨匠・ホルヘ・ルイス・ボルヘス夫人

マリア・コダマ

難しい壁を作らないで

河崎 勲 元NHKアルゼンチン支局長、当協会理事

凜とした女性である。

ボルヘス生誕100年記念シンポジウムのために15年ぶりに父親の祖国日本を訪れた。研究者や文人がボルヘス文学の真髄に迫ろうと飽くなき質問をする。夫人はボルヘスに代わって一言一言を選びつつ真正面から答える。はぐらかすことがない。

シンポジウムや懇談会の会場に20歳代の若者が多い。「どの国でも若者がボルヘスを読んで何かを発見しているようですよ」と、マリア夫人は日本の若者のボルヘスへの関心に何の驚きも示さない。「ボルヘス文学は難しいという壁を作ってしまうと入れない。初めての人が勇気を持ってプールの中に入るように、自然体でボルヘスに入ると気持ちよく泳げるようにになるのではないかしら。」

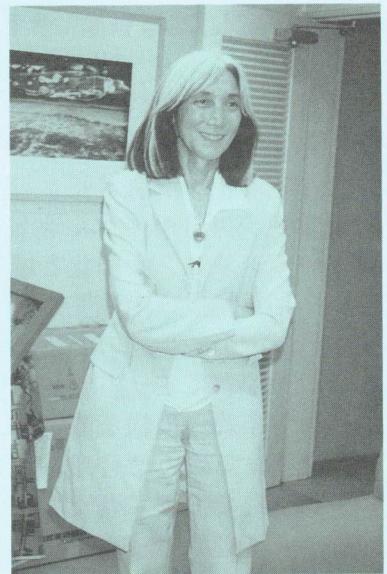
一見、僧院から現れてきたかのような地味で小柄なマリア夫人。真っ白の髪を無造作に左右に分けているが、内側の髪は栗色。熱をこめて話し出すと白髪と栗色の髪が揺れ

て縦縞模様になりそれがオシャレになっている。

「ボルヘスは家庭では明るい人で、気難しいところがありませんでした。友人がくると、古典を例に引いて冗談ばかり言っていました。」「時間割などに束縛されるのは嫌いで、インスピレーションが湧くと仕事に没頭し、その時は私は彼のメモを取りました。」マリア夫人は長年ボルヘスのよき秘書であり、ボルヘスが晩年視力を失ったあと、ボルヘスのために多くの本を読みきかせ、口述筆記でタイプを打ちボルヘス文学を完成させた。

「ボルヘスは母親っ子でした。母親が亡くなったあと、彼は私に甘えてきました。しかし私は、あなたの母親の代りはできないのよとはっきり言って、彼と私の間のルールを確認しました。私はふりまわされてはいけないと思ったのです。」両国語堪能のアルベルト松本(当協会員)さんが横にいてくれるので助かる。

ボルヘスの詩のいくつかにタンゴの曲がつけられてい



六本木、ストライプ・ハウスにて

る。ボルヘス自身は自分の一部の詩がミロンガに適していることは認めていたが、他の詩に音楽をつけられるのは歓迎していなかった。「何でもかでも曲をつければよい」というものではない。詩とはそういうものではない」と言っていたという。

マリア夫人は今、ひそかに自身が書き溜めた詩と短編を本にまとめたいと思っている。このことはまだ秘密である。

ラテン・アメリカ 「実用スペイン語」講習会

スペイン語講習会は、アルゼンチン人により短期間にスペイン語の会話能力を育成し、基礎知識を習得できる速成講座です。ご関心のある方は、次の要項をご参考の上申し込み下さい。

開講期間 秋季（9月～12月）冬季（希望者のある場合開講）

講座の種類及期日 （定員は夫々のコース18名、先着順）

初級 （タンゴやフォルクローレの歌詞などを中心に楽しい入門コース）

10月1日（金）より12月17日（金）迄

毎週金曜日12回、講師 マリサ マイステレイナ先生（予定）

中級 （実用会話、読書を楽しんでレベル・アップ）

9月28日（火）より12月21日（火）迄

毎週火曜日 12回、講師 リナ B フエララ先生

講習時間 18：30分より 20：30分迄（2時間）

受講料 （初級コース） （中級コース）

一般（非会員） 35,000円 40,000円

会員 25,000円 30,000円

学生 20,000円 25,000円

会場 当協会3階教室（JR、銀座線 新橋駅より徒歩3分、都営三田線内幸町駅徒歩3分、日比谷線 日比谷駅徒歩5分、第一ホテル東京裏口の四つ角、「ルノアール喫茶室」の2軒北角）

テキスト 講師指定のもの（実費のみ別に申し受け）

申し込み方法 下記の申込書に、受講料をそえて申し込んで下さい。

..... 切りとり線

（社）日本アルゼンチン協会

ラテン・アメリカ「実用スペイン語」講習会申込書

平成 年 月 日

氏名：（漢字、ローマ字）			
会員	一般（非会員）	学生	（○でかこむ）
住所：〒			
勤務先名と所在地			
：名称			
：所在地			
電話番号：	自宅	勤務先	
希望クラス：	初級コース	中級コース	（○でかこむ）



現地だより

岐阜県がア国 での農場経営 を計画

3セク設立で大豆、 小麦など栽培

岐阜県が今年度内に県内の食品メーカーなどと共同で第三セクターを設立し、アルゼンチンで農場経営に乗り出すという。小麦、大豆などを委託栽培、直接買い付ける体制を整えたい考え。健康で安全な農産物を県民に供給すると共に、将来起こりうる食糧不足に対処するため、食糧自給率向上を目指し、今年度から実施する。「岐阜県民食糧確保計画」の一策としている。

同計画は今年度から5カ年を対象にしており、36%にとどまる食料自給率を2003年度までに50%に高めるのが目標。公団の地方自治体が海外で独自に食糧自給計画を策定し、農場を経営するのは初めてという。

人口増加や異常気象で将来起こりかねない世界的な食糧不足に備える一方、遺伝子組み替え作物の輸入増加やダイオキシン、内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）問題などで安全な食品に対するニーズが高まっていることに対応。

自給率が10%以下と極めて低い小麦、大豆などは県内の

作付け拡大でまかなえない分について、ア国からの調達を計画。国内農産物が異常気象などにより不作の際には、ア国農産物を優先的に県内で消費されるようにするという。外国資本による土地所有を認めているア国で農場を取得した上で、栽培（有機農法を採用）は現地人に委託し、商社を通さず直接買い付け、作物は船便で40日間かけて輸入するルートの確立を目指す。

昨年5・6月に梶原知事がブエノスアイレス近郊の農場を視察、国立農牧技術院（INTA）の幹部らに農場構想を伝え、側面的な支援を取り付けると共に、今年二月には調査団を派遣して、約千ヘクタールの土地が確保できると判断した。知事はアルゼンチンはいろんな点で有望。民間と共に県独自の農場を作ることで、平常時の健康食材、非常時の食糧確保が出来る体制を整えたい。県は運営組織に出資するだけで、側面支援が中心になる。

現在、サラダコスモ、岐阜アグリフーズなど複数の県内企業、JAなどと3セクを設立する方向で検討中。県が一部出資の形で今年度中にも設立し、民間主導で農場経営に乗り出す予定だ。なお、サラダコスモ、岐阜アグリフーズ両社の社長は前述の調査団に随行し来アしている。

県は本年度中に採算性や安全性、運営主体などを検討して、来年度以降に本格的な予算化の予定。

（らぶらた報知紙より）

平成11年度当協会の 第43回通常総会報告

前号でご案内の通り、平成11年度当協会の第43回通常総会（兼理事会）が5月21日（金）午後2時半より、日比谷ダイビル4階において開催された。出席30名（他に委任出席41名）が参集し、前年度決算報告、本年度事業計画及び同予算案等が原案通り承認された。

同総会において、副会長の近藤四郎氏と近藤鎮雄氏両名が退任され、友国八郎氏が後任に、また、新理事として中野恵正氏と松下洋氏が就任された。

平成11年度の役員、理事等は次の通り。（敬称略・順不同）

会長	斎藤英四郎	新日本製鉄（株）社友名誉会長
副会長	藤本芳男	財団法人世界の動き社 理事長
	友国八郎	（株）商船三井 相談役
専務理事	野村秀治	野村アソシエイツ 代表
理事	高垣 佑	（株）東京三菱銀行 会長
	宮地隆夫	三井物産（株） 業務部国際業務室長
	風間孝晴	元国際協力事業団 理事
	里見駿介	三菱商事（株） 国際経済センター 対外企画グループ 首席研究員
	桑田芳郎	（株）日立製作所 代表取締役副社長
	堀都雍夫	（株）東芝 総務部 国際関係主監
	山根正彦	住友商事（株） 対外企画部 部長
	渡邊晴郎	丸紅（株） 常任顧問
	高野尚彦	伊藤忠商事（株） 顧問
	今永文男	日本水産（株） 相談役
	大隈信幸	日本ウルグアイ協会 会長
	佐藤和男	（株）商船三井 副社長
	西岡 稔	元 ダイビル（株） 専務取締役
	土屋桃子	ジャパン・アート・ルネッサンス協会 理事長
	山本 学	上野学園大学教授
	山本文夫	住友海上火災保険（株） 常務取締役
	斎木茂治	大来財団日本評議委員会 事務局長
	小宅庸夫	中部電力（株） 顧問
	河崎 熱	元 テレビ・ジャパン・アメリカ 社長
	中野恵正	ナカノ・アソシエイト 代表取締役
	松下 洋	神戸大学 大学院教授
監事	塩見憲一	（株）東京三菱銀行 中南米部長
	安田直弘	（株）安田 代表取締役

第400回オンブ会ゴルフ記念大会

八柳 修之 東京オンブ会幹事、当協会員

既報No.24号でご案内のオンブ会400回記念ゴルフ大会は、6月10日晴天の下、ブエノスアイレス郊外MARTIN DALE COUNTRY CLUBで木島大使以下34名、ご夫人11名、日本からOBの横山稔氏(元日商岩井アルゼンチン社社長)、日亞交易(株) 社長)、渡部透氏(当協会事務局長)参加の下に行われた。結果は寺本安久氏

(NEC)が大会実行委員長の重圧をものともせずベスグロ83で優勝した。また、東京オンブ会寄贈杯は紅一点の会員、酒井英子氏(インターJAL)が獲得した。記念祝賀パーティはSheraton Hotelで、ご夫人を含め61名、沖縄琉球祭り太鼓の演奏など盛り沢山のプログラム、宴は深夜未明に至るまで続いたとのことである。

長田小学校 「アルゼンチン友好の日」

ことしの「友好の日」は6月5日、アルゼンチン大使館ホール・ベイルス総領事、カルロス・ルビオ・レイナ参事官夫妻、協会野村専務理事が出席

して、全校生徒341名による行事がおこなわれた。一行は、授業参観のあと体育館で、子供たちの歌「カミニート」と演奏「花祭り」などを楽しんだ。

長田小学校「フォルクローレ・ダンス」を開始

7月16日、アルゼンチン国立民族舞踊団の正メンバーであった宮下美和子先生(ブエノスアイレス大学民族舞踊学部卒、当協会員)を迎えて、全校生徒は本場流のフォルクローレを練習した。同校は今後、定評のある「カミニート」に加え、全校生徒によるフォ

ルクローレ・ダンスと新曲「サンバ・デ・ミ・エスペランサ」を練習することを決めている。宮下先生談「始めは男女が手をつなぐことに抵抗していた子供たちが、最後の頃は嬉々として踊っていました。踊りのセンスはよく、来年の6月が楽しみです」

オンブ会は1964年1月頃、在亜日本商工会議所有志により始められたが、これを月1回、定期的に行うようにしたのは、66年1月(25回)以降、長年、会のまとめ役を務めた村瀬慎爾氏(故人)である。これまで入会した人の数は記録のある25回から数えて、99年4月まで延べ283名に達する。

一方、東京でもオンブ会菊池寛士第二代会長が来日するとの報を受け、菊池氏と親交のあったオンブ会OB有志23名が7月12日、日立鎌倉クラブに集い、菊池氏を囲み、遙かなる国、懐かしい国を語りあい、夏の宵の一時を過ごした。

小松亮太 「タンゴ・クリスタル」 本場で熱演

大統領府文化庁主催く火曜タンゴくに6月8日夜、セルバンテス国立劇場で熱演し、アルゼンチン人聴衆を魅了した。小松亮太は日本で最年少のバンドネオニスタとして、本場でも有名で、岩尾エンリケ(歌)やポーチョ・パルメル(バンドネオン)も共演し喝采を浴びた。一行はそのあと、折からブエノスアイレスに入港した商船三井の世界一周クルーズ船“にっぽん丸”に乗り込み、毎夜の船上コンサートを続けながら日本へ向かった。

文化行事

【※】は当協会員特別割引

■文学作家ボルヘス生誕100周年を祝うイベントへのご案内

◎記念特別展示会（1F）

日時：7月2日（金）～30日
(金)

11:00～18:30

会場：ストライプハウス
美術館（TEL 3405-8108）
ボルヘスの周辺の写真・
資料・著書訳本、雑誌
特集号、パネルなど

◎星野美智子ボルヘス シリーズ版画展

日時：同上

会場：同上（B1、2F、3F）

◎頌詩朗読と舞踏の夕

日時：7月23日（金）
19:00～21:00

会場：同上

◎講演「ボルヘスと英文学」 中村健二

（東京大学名誉教授）

日時：7月24日（土）
19:00～21:00

会場：同上

入場料：上記全てのイベント
無料

交通：日比谷線六本木駅3番
出口（右角のアマンドの
芋洗い坂下る徒歩3分）

主催：ボルヘス会、立教大学、
ストライプハウス美術館



■ 噇のアルゼンチン・ ワイン&ミュージックの タベ

日時：8月3日（火）

18:30～20:45

（ショータイム 19:30）

会場：ホテル・センチュリー
ハイアット
(クリスタルルーム)
スペシャル・ワイン
トーク、ワイン・ドリ
ンク・フリー、オード
ブル・バイキング

演奏：トリオ・カンタウト
レス（アルゼンチン・
フォルクローレ）

入場料：前売 10,000円
【※9,000円】、
当日 11,000円

交通：JR 新宿駅西口徒歩7分、
丸の内線西新宿駅徒歩3
分、都営 12号線都庁前
駅徒歩1分

主催：日本ラテンアメリカ
文化交流協会
(会長帆足まり子、
当協会員)

後援：アルゼンチン共和国
大使館（社）日本アル
ゼンチン協会等

申込み：日本ラテンアメリカ
文化交流協会
TEL 3310-3970
FAX 3310-3256

11:00～17:00

会場：山梨県河口湖町
円通寺・円形劇場

出演：グループ・カンデラリ
ア・高野太郎（当協会
員）ほか
主催：ユバンキ祭実行委員会
連絡先：高野音楽事務所
TEL03-3405-4344

■高野太郎チャリティ・ コンサート (南米のストリート・ チュルドレン支援)

日時：10月18日（月）
18:30

出演：高野太郎、
伴奏ネオタンゴ・
アンサンブル

会場：S·Y·D ホール
(JR 千駄ヶ谷駅まえ)

会費：5,000円。
(CD 発売記念レセプ
ション費込み)
連絡先：高野音楽事務所
TEL03-3405-4344



■第3回ユバンキ祭

日時：10月11日（日）

■華麗なるタンゴ～ 池田光夫タンゴ演奏会

日時：10月29日（金）
18:30 開演

会場：川崎市麻生市民会館
大ホール（044-951-1300）
出演：池田光夫とロス・ア
ミーゴス、ダンス
シンゴ&アスカ、
ゲスト戸川昌子
入場料：4,000円
【~~3,600円~~】
交通：小田急線新百合ヶ丘駅
前徒歩1分
主催：日本タンゴ演奏協会
(代表池田光夫、当協会員)
後援：アルゼンチン共和国大使館、(社)日本アルゼンチン協会
連絡先：ロス・アミーゴス
TEL 3489-2519
FAX 3595-3932

■熱愛のタンゴ (ADORACION DE TANGO)

日時：11月18日（木）
開演 19:00～21:00
会場：江戸川区立総合文化センター
出演：演奏エンリケ・クッチニーニタンゴ樂団（5人）、踊り2組、歌手1人、友情ゲスト歌手グロリア・米山
入場料：4,500円
【~~4,000円~~】
交通：JR総武線新小岩駅
南口下車 徒歩14分
主催：江戸川タンゴ・クラブ
(会長大橋雄一、当協会員)
後援：アルゼンチン共和国大使館、(社)日本アルゼンチン協会
連絡先：江戸川タンゴ・クラブ
TEL 3650-3740
FAX 3650-1204

お知らせ

■第4回ペヘレイ・ツ

アーの予告ご案内

恒例の春のペヘレイ・ツ
アーは、3月末の日ア修好100周年記念事業の終了事務などと重なり、延期していました。この程（株）安田代表取締役（当協会監事）のご好意により、11月上旬頃今年も特別価格で盛大に開催する予定です。
なお、詳細については、10月中旬発行予定の会報（第26号）でご案内致す予定ですのでご期待下さい。

■レストラン・パンパ

（アサード）～煙たなびく ガウチョの家

アルゼンチン料理：牛・鶏・羊の肉料理各種、パスタ類・シチューなど

（5種類の肉盛り合わせ2,600円、エンパナーダ400円、生ビール1杯300円）

場所：港区六本木3-8-6

須藤ビル

TEL 3405-0306

営業時間：17:00～23:00

交通：日比谷線 六本木駅

下車徒歩5分

パンパは、オーナーの高野太郎氏（当協会員）が隣で経営している、カンデラリアの姉妹店である。

【~~当協会員に限り、5%割引~~】

■カンデラリア～

アルゼンチン・タンゴ・ライブレストラン

飲んで、歌って、踊って、食べて（毎日本場のバンドネオン奏者出演）

ショウタイム：19:30
21:00
22:30

（チャージ3,000円）

毎週金曜日はダンスショウあり。

【~~当協会員に限り、5%割引~~】

■アルゼンチン経済省速報

(ARGENTINE ECONOMIC UPDATE)

No.12（7月号）を目下、委員会メンバーにより翻訳中です。次号でNo.12/13を紹介します。乞ご期待。

■経済諮問委員会メンバー

大使館の依頼により発足した委員会のメンバーは、つぎのような各界のエキスパート（当協会員）により構成され、翻訳、要約のみならず、大使館への各種アドバイスも行っています。

松下 洋

神戸大学大学院教授

小林晋一郎

東銀リサーチインターナ
ショナル研究理事

中野恵正
ナカノ・アソシエイト代表
取締(元三井物産常務取締役)
河崎 勲
元テレビ・ジャパン・アメリカ
社長(元NHKブエノス
アイレス特派員)
中嶌重富
イデア・インスティテュート
常務取締役
野村秀治
協会専務理事
(元商船三井調査部長)

■ コパ・アルヘンティーナ
争奪、全日本タンゴ・ダンス・コンテスト(企画)
来年5月25日に開催予定で、現

在協会、大使館、およびタンゴ関係者の間で協議されています。わが国のタンゴ・ダンス・ブームをさらに盛り上げるために、それにアルゼンチンの革命記念日祝賀とを融合させる企画を進めています。協会員各位のご意見、アイデアをお待ちしています。

■ 当協会の会費納入について

平成11年度会費(法人会員、個人正会員、賛助会員)につきましては、既に請求書を夫々の会員各位宛に送付させて頂きましたので、未納の方は宜しくお願い申し上げます。

会員を募集中です

特典:

☆ 年4回、最新のニュースや話題を盛り込んだレベルの高い会報を無料配布

☆ タンゴやフォルクローレ演奏会等の催物の会員割引

☆ 会員アーティスト主催の文化行事の割引ご案内

☆ 当協会主催の催物ご参加(実費徴収)、スペイン語教室(授業料会員割引)など

☆ 協会年会費:
個人正会員 10,000円
(定款上総会の構成員、議決権有り)
賛助会員 5,000円
(議決権なし)

☆ 郵便振込口座:
00120-6-581381、

☆ 住友銀行日比谷支店口座:
普通 215-99570

☆ 連絡先:事務局
Tel:03-3501-4684

あとがき

次号(26号)は10月中旬発行予定です。会員各位の投稿、ご意見をお待ちしています。

人事往来

(平成11年4月~6月)

来日

多和田 真昭 亜日文化財団理事長
5月7日~24日 (第40回海外日系人大会出席)
マリア・コダマ・デ・ボルヘス夫人
6月28日~7月8日 (ボルヘス・シンポジウム~生誕100年)
菊池寛士 エキパルコン(株)社長
6月25日~7月15日

訪ア

コパ・アメリカ99日本代表サッカーチーム 6月22日~27日
高円宮殿下同妃殿下 6月30日